



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

利用者・家族、地域事業所など、市民・他団体と共同した取り組みを強化しよう

「介護をよくする東京の会」結成総会 92名が参加 (東京)

利用者・家族、事業者、労働者の協同で、介護保険改善・介護保障拡充の運動を広げよう！

3月14日、東京民医連、東京社保協、東京医労連、東京地評、東京自治労連の呼びかけで「介護をよくする東京の会」結成総会が大塚・ラパスホールで開かれました。総会には民医連職員や共同組織、高齢者団体、地域社保協、労組組合員、登録ヘルパーなど92人が参加。

第1部は日本福祉大学・石川満教授による記念講演「憲法や社会保障の権利性から見た介護保険制度の改善課題」。石川先生は介護保険制度は「利用者を疑うシステム」になっており、改めて小川政亮先生の「権利としての社会保障を実現する原則」から学ぶ意義を強調しました。

第2部の結成総会では、呼びかけ団体から、この間の経過や呼びかけの趣旨、申し合わせ事項案が提案され、質疑応答・交流を行いました。

「介護保険は社会保障に新しいしくみを導入した“収奪条例”だ」（高齢期運動連絡会）、「保険料、利用制限など改善すべき課題が山積している」（ケアマネジャー）、「利用者・家族の実態を知ることが大事」（三多摩健康友の会）、「会の結成でいろんな人と意見交換したい」（ヘルパー）など10人が発言し、会の結成を確認しました。

総会には東京大学名誉教授・多田富雄先生をはじめ107団体・個人から賛同があり、45団体・個人からメッセージが寄せられました。

「介護をよくする東京の会」では当面のとりくみとして、巣鴨地蔵通りでの宣伝行動（4月4日・午後2時～3時）、第6回全都ヘルパー集会（5月24日・午後、大塚・ラパスホール）を行います。
(東京介護ウェーブ 2009 ニュース No.25 2009.03.18 より)



【事務局短信】 STOP! 介護崩壊 全日本民医連「第9回学術・運動交流集会」で取り組みを交流しよう！

全日本民医連「第9回学術・運動交流集会」が、2009年10月2日（金）～3日（土）に群馬県前橋市で開催されます。品川正治氏（経済同友会終身幹事）の記念講演や、医療・介護・福祉の再生シンポジウム、分科会等の企画が行われます。この1年間の介護ウェーブの取り組みをはじめ、ケア実践や日頃の活動をまとめて、分科会（口演）・ポスターセッションで演題発表し、全国の仲間と交流しよう！

演題応募は、第9回学術運動交換会ホームページから、締め切り日は、2009年4月10日（金）17:00です。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp